

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	これまで感染症対策や業務優先の運営を行ってきた影響もあり、地域行事への参加や近隣住民との交流の機会が減少している状況にある。その結果、入居者様が地域の一員として生活している実感を得る機会が限られており、地域とのつながりが希薄になっている。	地域との交流機会の創出や情報発信を積極的に行い、入居者様が安心して地域の中で生活できる環境づくりと、地域に開かれた施設運営を推進していく	地域における各種行事に積極的に参加し、当ホームの存在や役割が十分に理解頂けるようにする。	6ヶ月
2	14	外部との関わりが限定的となり、他事業所の取り組みや新たなケアの視点を取り入れる機会が少なくなっている。その結果、支援方法の幅が広がりにくく、サービスの質のさらなる向上に向けた取り組みが停滞していることが課題である。	他事業所との交流や連携の機会を定期的に確保し、情報共有や意見交換を通じて新たな知識やケア手法を積極的に取り入れる体制を構築する。これにより、職員一人ひとりの専門性の向上と、事業所全体のサービスの質の継続的な向上を図る。	今後3か月以内に、近隣事業所との情報交換の機会や外部研修への参加を通じて、他事業所の取り組みやケアの視点に触れる機会を確保する。また、そこで得た知識や気づきを事業所内で共有し、日々のケアに活かせる取り組みを一つ以上実践することで、サービスの質の向上につなげてい	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。